分断のシナリオ

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

分断がもたらすコスト

経済学者たちは、分断された世界経済のコストを測定しようと試みてきました。2023年1月に公表された国際通貨基金のスタッフによる分析は、深刻な貿易の分断がもたらす長期的なコストは世界の生産の7%近くに達し得ると推計しました。技術のデカップリングも進めば、一部の国は生産の最大12%を失う可能性があるとしています。[1] 生産に対する貿易の比率が高い小規模な開放経済は、最も大きな影響を受ける国々に含まれるでしょう。貿易額が国内総生産の数倍に上るシンガポールは、影響を受けやすい経済のいかなるリストにおいても上位に位置します。

金融面への影響も、それに劣らず深刻なものとなるでしょう。2023年4月の*Global Financial Stability Report*は、「国際的なリスク分散の機会がより限られる」ことと、資本移動の不安定化を警告しました。同報告書は、「金融機関は、高まる地政学的リスクに備えて十分な資本と流動性のバッファーを保有する必要があるかもしれない」と提言しました。[2] 国境を越えた分散によって収益を上げているセンターにとって、この警告はそのビジネスモデルに対する直接的な脅威を言い表しています。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

以下のシナリオは、今後10年間の対立がたどり得る三つの道筋を描いたものです。第K部第VI章では、これらを他の変数と組み合わせて、2035年の金融センターについての四つの総合シナリオを示しています。

第一のシナリオ：管理された対立

第一のシナリオでは、対立は公然たる衝突に至ることなく続きます。関税は交渉に応じて上がったり下がったりし、輸出管理は先端技術の狭い範囲で厳格化され、投資審査は双方で日常的なものとなります。大半の財の貿易は継続し、資本は引き続き仲介者を通じて陣営間を移動します。

このシナリオはシンガポールにとって有利です。多国籍企業はサプライチェーンの分散を続け、それが東南アジアに利益をもたらすからです。投資家は双方から信頼される法域を評価し、それがシンガポールのウェルスマネジメント、ファンド運用およびファミリーオフィスの分野に利益をもたらします。コンプライアンス業務が増えるにつれ、シンガポールの弁護士、監査人およびコンサルタントは安定した需要を見出すでしょう。主なリスクは、ワシントンや北京におけるシンガポールの評価を損なう、迂回や回避の個別事案にあるでしょう。

第二のシナリオ：ブロックの形成

第二のシナリオでは、世界は技術、データおよび決済について別々の基準を持つブロックに分かれます。米国は管理措置をより広い範囲の財とサービスに拡大し、パートナー国にそれを採用するよう圧力をかけます。中国はこれに対し、自国の決済システムと管理措置を拡大し、自国企業にいずれかの側を選ぶよう求めます。第三国は、足並みをそろえるよう求める圧力の高まりに直面します。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

シンガポールにとって、このシナリオは困難なものとなるでしょう。各陣営が排他性を求めるようになれば、両陣営に開かれているという戦略を維持することが難しくなるからです。シンガポールの銀行はどの決済システムに参加するかを、テクノロジー部門はどの基準に従うかを決めなければならなくなります。両ブロックは互いに取引するための場所を引き続き必要とするため、一定の業務は残るでしょう。しかし、その業務の量と収益性は第一のシナリオよりも小さく、コンプライアンス上のリスクはより大きくなります。

第三のシナリオ：地域紛争

第三のシナリオでは、対立が地域における軍事衝突へと転化します。たとえば台湾をめぐる、あるいは南シナ海における衝突です。その場合、2022年のロシアに対するものをはるかに上回る規模で、制裁と対抗制裁が科されることになるでしょう。マラッカ海峡と南シナ海を通る海運が混乱し、保険料が急騰し、資本は地域から逃避する可能性があります。

2026年の出来事は、海上の要衝が脆弱であることを示しました。2026年4月、ウォン首相は、ホルムズ海峡の違法な武器化は危険な先例となると警告しました。その後、シンガポールとインドネシアは、マラッカ海峡をすべての国に開かれたものとして維持するという共通の利益を確認しました。[3] シンガポール自身の海域での紛争は、1942年以来経験したことのない形で同国の制度を試すことになるでしょう。1942年には、第C部第I章で述べる占領が、植民地の港が拠り所としていた信頼を打ち砕きました。このシナリオに対するシンガポールの備えは、国防、準備金、そして金融インフラの強靭性にあります。その戦略上の目標はこのシナリオを防ぐことにあり、それが地域外交に多大な力を注いでいる理由でもあります。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

注視すべきシグナル

金融センターの将来に備えて計画を立てる機関は、少数の指標を追うことができます。第一は米国の輸出管理の範囲であり、それが先端半導体からより広い範囲の技術やサービスへと拡大するかどうかです。第二は、2026年の訴訟を経た後の米国の関税の法的根拠の状況です。第三は、ドル以外の通貨で決済される貿易の割合と、代替的な決済システムの発展です。第四は、特に迂回や制裁回避の事案において、米国と中国の当局がシンガポールそのものについて発する公式声明の論調です。第五は、台湾海峡と南シナ海の軍事情勢です。

これらの指標のいずれも将来を予測するものではありませんが、総合すると、世界がどの方向に向かっているのか、そしてシンガポールの機関が適応するためにどれだけの時間が残されているのかを示してくれます。第K部第VI章では、これらを用いてシナリオを評価しています。

注

1. Kristalina Georgieva, “Confronting Fragmentation Where It Matters Most: Trade, Debt, and Climate Action”, IMF Blog, 2023年1月16日（imf.org、2026年11月最終閲覧）：貿易の分断の長期的なコストは“0.2 percent of global output in a limited fragmentation scenario”から“almost 7 percent in a severe scenario”まで。技術のデカップリングを伴う場合、“some countries could see losses of up to 12 percent of GDP”。このブログはShekhar Aiyar et al., “Geoeconomic Fragmentation and the Future of Multilateralism”, IMF Staff Discussion Note SDN/2023/001, 2023年1月に依拠している。 ↩

2. International Monetary Fund, *Global Financial Stability Report*, 2023年4月, 第3章（imf.org、要約ページ、2026年11月最終閲覧）：“more limited opportunities for international risk diversification”、“exacerbated capital

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

flow and macro-financial volatility”、“Financial institutions may need to hold adequate capital and liquidity buffers against rising geopolitical risks.” ↩

3. Ng Wei Kai, “Illegal weaponisation of Strait of Hormuz would set dangerous precedent: PM Wong”, *The Straits Times*, 2026年4月17日。“‘Strategically aligned’: Singapore, Indonesia want Strait of Malacca open and free for all, say leaders”, 2026年7月7日。見出しはWikipedia, “Lawrence Wong”（2026年11月最終閲覧）の参考文献一覧による。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com